

慶祝

おめでとうございます
心より祝福いたします

(敬称略)

「市の記念日・市長表彰」

平成28年7月12日付

◎自治振興(牛島橋通町町内会長)

伊勢谷 順一(栖山南中町)

◎社会福祉(民生委員・児童委員)

鈴木 夏代(栖山寺小路)

「日本赤十字社表彰」協賛委員

◎金色有功章

佐々木 洋吉(栖山共和町)

◎銀色有功章

樋渡 久孝(栖山太田町)

佐々木 正次(栖山城南町)

「秋田県共同募金会長賞表彰」

◎奉仕功労

小松 勇(栖山石塚町)

「市民憲章推進協議会会長表彰」

◎住民活動

佐藤 義孝(栖山愛宕下)

築山地区敬老会

恒例、当築山地区社会福祉協議会主催の28年度地区敬老会を次のとおり開催します。

対象の方は、明年29年4月1日現在、満75歳以上の皆様で、各町内会長を介してご案内致しました。該当される方は、お誘い合わせのうえ、ぜひ御出席下さい。

日時 9月20日(火)午前11時
場所 栖山コミュニティセンター

地区へのご篤志

○ご香典返し

3万円(亡父 佐々木榮次さん)
栖山登町 佐々木康二様

会務報告

平成28年3月～平成28年8月

3月1日 築山社協だより第49号を発行し、民生委員、町内会長の手を借り全世帯に配布

3月8日 市社協評議委員会、プロック会議に会長出席

3月8日 共募実績報告会に会長と事務局長出席

4月7日 平成27年度会計監査の実施

4月14日 地区役員会を開催し、総会提出議案を審議

4月29日 定期総会を栖山コミュニティセンターで開催し平成27年度事業報告、同決算平成28年度事業計画について審議承認

6月11日 第一回ゴルフ大会をグリーンゴルフ友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施

6月22日 地区社会福祉協議会連絡会総会へ会長、事務局長が出席

6月22日 盛岡市社協で取り組んでいる「マップとサロン活動事業」の研究修会へ参加

7月8日 敬老会該当者を民生委員、町内会長に調査を依頼

7月23日 第二回ゴルフ大会をグリーンゴルフ友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施

大会をグリーンゴルフ友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施
8月8日 敬老会の案内を築山小学校を始め各種団体等に配布
8月16日 敬老会該当者に案内状を民生委員等の手をかり、町内会長から配布

赤い羽根共同募金

皆様のご協力をお願いします

本年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。

皆様からご協力いただいた募金は秋田市共同募金委員会(以下「市共募」)に全額送金され、県市の社会福祉活動の助成等のほか、各地区社協にも配分され、地域福祉を高めるうえで極めて重要な社会事業費となります。

秋田市では世帯数に応じ按分して各地区の目標額を決めています。また、各地区社協でも事業の推進に必要な目標額を設定して「市共募」に提出していただきます。募金の実績額が目標額合計を上回ると地区への配当金が加算されます。本地区は皆様のご協力により昨年目標額を超えることができました。「歳末助け合い配分原資金」と合わせて、地区の福祉事業の推進や諸団体への助成などに充てることができます。

「歳末助け合い募金」も含めて、各町内会の皆様にご難儀をおかけしますが、共同募金活動の趣旨のご理解と募金へのご協力をよろしくお願い申し上げます。(築山地区共同募金会)

編集後記

栖山の一郭に、編集者が居を構えて50年余、巻頭の明田富士山取材のため徒歩8分程の位置なのに初登頂と相成った。太平洋に掛かる才八橋近く、右岸沿いに登山口があった。

急坂の小さな山道を5分程登ると、数百坪程のフラットな台地が頂上。この丘には、富士太郎なる豪族の館があったといわれ、富士山の名はそこから出たらしい。

このたびの発端は、渡部景一氏(昭和48年・秋田南中校長で退職)の著作「久保田城下町の歴史・無明舎版」を読み返し、「羽州久保田大絵図(文政期末)に「栖山村と富士山」とあったことに触発されたのである。

記述によると「金照寺山(巻頭写真左奥)はもと「栖山」といわれ、本村は富士山下の旧栖山村(栖山大元町)附近(同著19ページ)と思われるであったのだ。明田富士の西側斜面は、たびたび低湿の築地(大堰端と呼称)に土で運ばれて埋立てられたという。西麓には「館ノ越」の地名が残っている。因みに前記の渡部景一氏は、編集子の秋大附属中学時代の恩師である。

(編集委員 北條 晃)

編集委員 北條 晃
加藤 俊悦
京屋 均
連絡先(事務局) 樋渡 久孝

築山社協だより

第50号

平成28年9月1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦
(題字: 茂林 憲子)

明富士山から栖山を眺望



築山地区の南東部、近年こそ「明田富士」のネーミングを得ているが、古の書物を繙くと「栖山富士」の呼称が見え隠れする。その山頂(標高351・日本一低い富士山)から、栖山大元町方向を望見した。全国には約3百の富士名の山があるというフォトII樋渡久孝・キャプションII北條 晃(8面参照)

災害時避難支援にご協力を



築山地区社会福祉協議会
会長 加藤 俊悦

本年6月に、中央市民サービスセンターで開催された「地域福祉推進関係者連絡会」に出席いたしました。市福祉総務課地域福祉推進室から、「秋田市災害時要援護者の避難支援プラン」に関するガイドラインが示されました。

この施策を端的に述べると、「災害に備えた支え合いの地域づくり」の具現化に向けて、災害時における要援護者の安否確認や避難支援の具体策を各地区の町内会等で立案し、防災・減災を図ることに主たる目的があります。

災害時要援護者を明確にする必要があり、市から次の2点のリストと名簿が地区へ提供されます。

①「要援護者把握用リスト」は条例に基づく同意不同意によらないリストです。平常時に地区内の要援護者を把握しておき、大災害時の安否確認や避難誘導に使用されます。市から提供される情報内容は、住所・氏名・性別・年齢の最小限にとどめ、災害時に特に避難誘導が必要な方々を明確にしておくためにこのリストが利用されます。

その情報は、地区内の町内会長、自主防災組織隊長、民生委員のみ

に提供されるものです。

②「避難支援対象者名簿」は、本人の同意に基づく名簿です。平常時は地区の支援体制づくりに活用され、災害発生時や災害の恐れがあるときの安否確認や避難誘導などに利用されます。①の個人情報報のほか、生年月日・電話番号や支援が必要な理由も付記され、その名簿は県警や市社協にも提供されます。

近年発生した震災等の大規模災害時には、町内会や近隣の方々に安否確認や避難誘導が功を奏して、減災に結びついたという事例が多く見られました。

つまり、この事業は、いざという時を地域ぐるみで想定し、安否確認や避難誘導等を自助・共助の心で協力し合うための施策です。

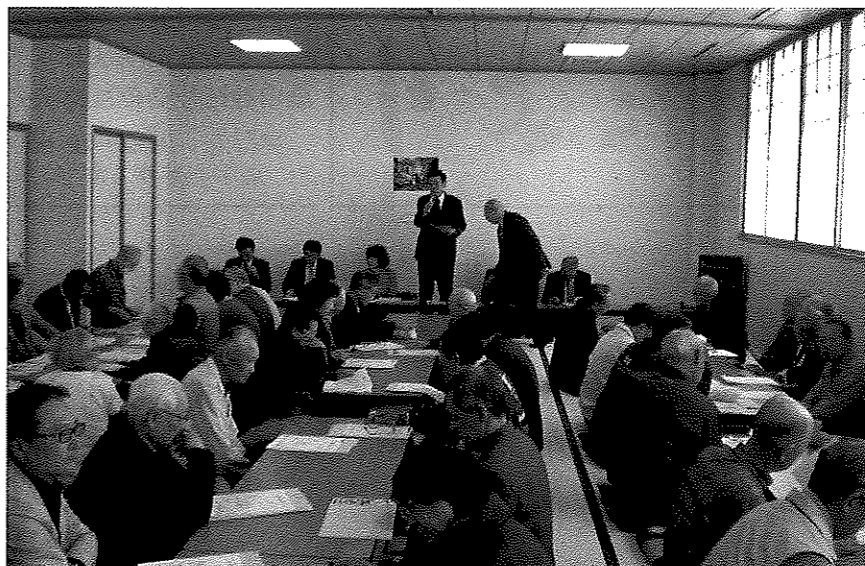
市では、今年度から平成30年度までにこの事業を各地区で具体化するよう求めています。本地区においても、市職員による説明会やモデル町内会での取組紹介などを通して、市からの助言も得ながら、本事業が各町内会等に浸透するよう推進してまいりますので、各世帯の皆様からのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

誰もが安心して暮らせるまちづくり

28年度築山地区社協 定期総会

平成28年度の築山地区社会福祉協議会定期総会は、4月29日14時から榎山コミュニティセンターで開催。役員・評議員等76名が出席、当該年度の事業計画、予算などを審議しました。冒頭、加藤俊悦会長から、本年は当

築山社協が設立60周年を迎え、特別事業を加える、また「災害時の要援者支援プラン」を作成させるなどと挨拶(別稿に要旨)を述べました。当日は、来賓として秋田南中学校・茜谷英也校長(新任)、築山小学校・



加藤俊悦会長のあいさつ概要 築山社協設立60周年を迎えて

地区町内会長、民生児童委員の方々をはじめ、皆様には平素から築山地区社協の事業にご尽力いただき深く感謝申し上げます。築山社協は昭和31年7月1日に設立された。本年は設立60周年を迎えることから、記念式典・祝賀会・記念誌の刊行などを年度の特

別事業に加える計画である。また、今年度は「災害時の要援者支援プラン」を各地区ごとの事情に合わせて作成、「地域ぐるみで災害に備える」取り組みを本格化させるスタート年次となる。各位には、その事業についてのご理解、ご協力もお願い致します。

林崎勝校長、榎山交番・石井隆一所長ら諸氏のご臨席を得ました。議事に入り、議長は佐々木洋吉副会長が担当、樋渡久孝副会長・事務局局長から、27年度事業・決算報告、さらに28年度の事業計画・予算の議案説明があり、それぞれ原案どおり(会計報告は3面に)、承認されました。議事終了後、日本赤十字社秋田市地区築山分区分長・妹尾弘氏から「28年度日赤社員増強運動」への協力依頼もありました。

◆平成28年度事業計画

住み慣れた地域で「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」(秋田市地域福祉活動計画・しあわせづくりプラン2014)を当地区社協の福祉活動の基本とします。地区内福祉関係団体・近隣の方々の連携を深め、「みんなの福祉をみんなの手で」を合い言葉に、住民が積極的かつ主体的に福祉活動へ参画できるように事業を展開し、地域の福祉力を高めます。また、誰もが安心して暮らせる「顔の見える絆づくり」しての事業を推進するとともに、高齢者を含めた方々の生きがいづくりや、見守りネットワーク及び災害に備えた支え合いの地域づくりに一層努力を注ぎます。

◆重点目標の具体的方策

1、健康づくり、生きがいづくり
市社会福祉協議会の助成金を活用して、地域に住む高齢者の元気アツ

プ活動の一層の充実を図るため、各スポーツ大会や、いきいき地域サロに積極的に取り組みます。

2、老人福祉関係
満75歳以上の方を対象(約1500人)に地区敬老会を開催します。また民生児童委員、町内会長、福祉協力員、地域住民の協力を得ながら見守りと安否確認を兼ねた声かけ運動を実施します。老人クラブには引き続き助成を行いません。

3、児童福祉関係
児童・幼児の健全育成のため、築山児童センター、地域内保育園、きりんクラブ、子ども育成会(築山小)の支援活動に助成を行います。

4、研修会関係
各機関が開催する研修会に積極的に参加します。また「災害時要援者避難支援プラン」の研修と支援体制の整備を行いません。

5、福祉関係諸団体への助成
築山地区民生児童委員協議会等4団体(3面参照)に助成します。

6、広報関係
「築山社協だより」を年2回発行、全世帯(4300部)に配布、広報活動に努めます。「築山社協設立60周年記念誌」を刊行します。

7、特別事業関係
地区住民を対象に軽スポーツ、グラウンドゴルフなどの開催、高齢者と幼児との交流行事等を行いません。築山社協設立60周年に因み記念式典、祝賀会を開催します。

地域の介護保険施設めぐり



グループホーム かんとう (橋山川口境11-17) 有限会社 ケアサービス「おちあい」運営

「かんとう」は、イオン秋田中央店(旧サテイ)近くの住宅地の一角にあります。認知症で要支援2から要介護5までの67歳〜95歳の男女18人が、共同生活をしています。職員は17人。早番、日勤、遅番、夜勤に分かれローテーションで介護に当たっています。設立は平成24年4月。全室個室で日当たりが良いように配置されており、新しく明るい感じがしました。

認知症対応型共同生活介護事業所

グループホーム かんとう

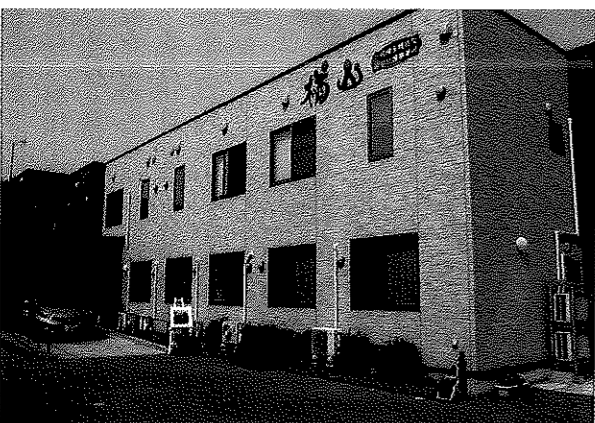
特徴的なのは、午前のお茶会の時に職員が新聞を読んでその日の日付けや曜日の意識付けをしていることです。洗濯物の取り込み、片付けも入居者でできる人は手伝います。さらには夕飯づくりにも加わり、職員と一緒に包丁を使います。味付けもする入居者もいます。

管理責任者でケアマネジャーの大石信さんは「共同生活とはいえ、これまでの家庭生活の延長であることを踏まえ、安心して生活できる環境に努め行っています」と語ります。

ひとり一人さまざま。本人の状態を確認したうえで「さつき言ったでしょう」など傷つく言葉は使わないで、入居者が安心できるように接するといいます。大石さんは「入居者それぞれに合った対応をするには、本人の生活歴、好趣味などを十分把握していなければなりません。そのためには、ご家族の協力は欠かせません。これらを踏まえて語り掛けることで、信頼関係や安心感が生まれます」と。

職員は、各種研修会に参加し、その情報を持ち帰って施設全体のレベルアップに努めています。

問い合わせ先 ☎874-8850
橋山川口境11-17
(編集委員 京屋 均)



橋山・ならやま (橋山佐竹町1-19)

小規模多機能型居宅介護事業所

橋山・ならやま

「橋山」は、大堰端とスーパーストア「ドジャース橋山店」(旧ト一屋)のある橋山本町の交差点近くにありま

当事業所は、介護予防の利用定員が25名の小規模な居宅型の施設で、株式会社ユタカが運営、平成23年7月に開設しました。サービス付き高齢者向け住宅です。利用者が有する能力に応じて、居宅で自立した日常生活を営むことができるようにすることを目的としています。

自宅から来てもらう「通い」9時〜17時30分には8人、二階にある高齢者向け住宅には9名の定員があります

高齢者向け住宅の介護自己負担額は、一人で利用する場合は6万3千円、二人で利用する場合は7万1千円で、エアコンを利用する場合は3千円が加算されます。

管理責任者でケアマネジャーの桜田桂子さんは、「自宅への訪問にも回数や時間、内容にも一人ひとりに合わせ必要なサービスが受けられるよう柔軟に対応しておりますので、地域の皆様多数にご利用をお願いいたします。です」と語っております。

問い合わせ先 ☎884-17880
橋山佐竹町1-19
(編集委員 樋渡 久孝)

築山地区社会福祉協議会の 会計報告

平成27年度決算及び平成28年度予算

収入		単位：円		
科	目	27年度決算額	28年度予算額	予算に対する内容説明
1	会費	1,104,520	1,101,600	360×3,060世帯
2	共同募金一般配分金	873,997	914,024	27年度地区共同募金実績による配分
3	友愛訪問事業交付金	141,818	141,818	見守りネットワーク事業
4	助成金	1,249,498	1,248,218	地区福祉活動 489,600、元気アップ他 758,618
5	補助金	1,587,000	1,557,000	敬老会（市補助）
6	寄付金	105,000	100,000	
7	諸収入	1,432	258	預金利子他
8	繰越金	1,274,904	1,392,082	平成27年度からの繰越
合	計	6,338,149	6,455,000	

支出		単位：円		
科	目	27年度決算額	28年度予算額	予算に対する内容説明
1	会議費	92,105	150,000	
2	事務費	111,629	200,000	
3	老人福祉費	1,687,344	2,090,000	敬老会 2,000,000 3老人クラブへ助成 90,000
4	児童福祉費	170,000	170,000	地区内3保育園 60,000 築山きりんクラブ 20,000 築山小学校子供会育成 40,000 児童センター運営助成 50,000
5	災害見舞金	0	100,000	
6	研修費	301,896	140,000	市社協、7地区・Bブロック研修他
7	助成金	140,000	140,000	築山地区民生児童委員協議会 40,000 築山学区町内会長連絡協議会 40,000 築山地区自主防災組織協議会 35,000 楢山コミュニティセンター 25,000
8	広報費	412,048	420,000	築山社協だよりの発行（年2回）
9	慶弔費	0	50,000	
10	特別事業費	877,565	1,700,000	地域交流行事 500,000 高齢者への激励訪問 150,000 幼児と高齢者のふれあい行事 50,000 軽スポーツレクリエーション大会他 100,000 グラウンドゴルフ、カーリング大会 150,000 60周年記念事業、記念誌発行 700,000 他
11	市社協納入金	1,138,480	1,140,000	全戸会員会費 1,101,600 特別会費他 38,400
12	予備費	15,000	155,000	
合	計	4,946,067	6,455,000	

※ 上記の外に、基金として4,000,000円の定期預金（北都銀行楢山支店）

地域の介護保険施設めぐり

指定通所介護事業所 秋田市川口老人デイサービスセンター



旭川、太平洋に程近い、川口界隈に所在する秋田市川口老人デイサービスセンターは、平屋建ての通所介護施設です。社会福祉法人晃和会が秋田市の指定管理者として指定を受け、事業運営にあたっています。「かわぐち保育園（5面参照）との合築事業所で、平成7年10月にスタートしております。（東部ガスバス停前・秋田中央交通）

デイサービスは、要介護・要支援になっても、住み慣れた地域社会で自立した日常生活を営むことができるよう、ケアマネージャーの計画に沿って

★川口デイの一日★

- 8:30 お迎え開始
・各家庭にお迎えにあがります。
- 9:30 健康チェック
・血圧、体温、脈拍、体重測定等、看護師が対応します。
- 10:00 体操
・楽しみながら、転倒予防、筋力、体力アップを目指します。
- 10:15 レクリエーション・行事
・様々なゲームや行事を用意しています。皆さん一緒のお楽しみ。
- 11:00 個別機能訓練
・もっと体力・筋力をアップさせたい方は、看護師が指導します。
- 12:00 昼食
・季節に合わせた食事を楽しめめます。月1回主食の選択とバイキングも用意しています。
- 入浴
・数種類の入浴剤を使用し、季節感を味わって頂きます。
- 趣味活動・歓談
・お菓子、手作りおやつと数種類の飲み物を提供、会話を楽しまれたり、将棋、創作活動、カラオケ等ご自由に過ごすタイム。
- 16:30 ご帰宅
・各家庭までお送り致します。

必要なサービスを提供し、心身機能の維持・向上、社会的孤立感の解消、生活意欲の向上を支援することを目的としています。

定員は25名、利用できる方は要支援1及び2と認定された方、要介護1、5と認定された方々です。デイサービスセンターでは、各家庭への送迎をしてくれまます。施設に着いたら、バイタルチェック、希望者への入浴、昼食、おやつ、レクリエーションなどがあります。基本サービスに加えて、排泄ケア、水分補給、口腔ケアなどが行われます。（一回毎の料金設定、食事代は550円）

毎月楽しい行事、例えば4月は観桜

ドライブ、9月は長寿と健康を祝う会、10月は文化祭等が組まれております。やはり月1回かわぐち保育園・園児との交流行事（上の写真）もあります。

7月21日に取材しました。この日の利用人員は22名、平均年齢は80代、可愛らしい園児の笑顔に心が癒されていようでした。核家族化・独居世帯も増え、幼児と関わる機会が少なくなっているため、ゲームなどを通して、交流を楽しんで生活意欲に繋げていた、たくさんという趣旨。また民謡歌手、大正琴、フラダンス等、ボランティアの来所（登壇竿燈会の演技も）があるそうです。

老人デイサービスセンターは、在宅介護を長続きさせ、老化や障がいによって失いかけた人間関係や役割、延いては高齢者のアイデンティティ（自己存在の独自性についての自覚）を確認するための場になるでしょう。

各種相談援助や申請代行 ◆川口居宅介護支援事業所

川口老人デイサービスには、川口居宅介護支援事業所が併設されています。要介護状態になっても自宅での生活が継続できるように、介護保険制度に関する様々な相談や申請の代行、必要な介護保険、インフォームルなサービス等、地域包括支援センター、医療、保健、福祉機関と連携、一人ひとりに合った自立した生活を支援します。

住宅改修、福祉用具の購入、施設入所に関する相談にも対応しています。

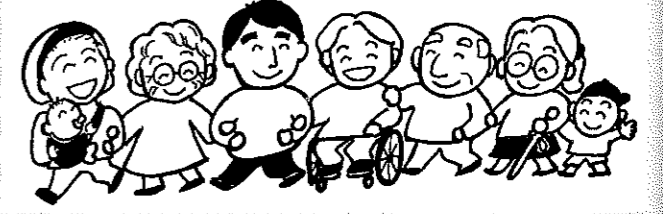
この支援事業所には、3名のケアマネジャー（介護支援専門員）が配置され、地域に安心と信頼を提供出来るよう活動中です。

（編集委員 北條 晃）



秋田市川口老人デイサービスセンター（楢山登町10-64）
 管理者・飯塚澄子 ☎832-3966
 （営業日 月曜日～土曜日 祝日も対応）
 川口居宅介護支援事業所 課長・平山義成 ☎832-7506
 （営業日 月曜日～金曜日）※緊急の相談等には弾力的に対応

築山地区社協 設立60周年に当たって 10月28日(金)に記念式典開催



「築山地区社会福祉協議会」は昭和31年7月1日に設立されました。本年はその設立60周年を迎えております。遡りますと、昭和24年9月に「秋田市社会福祉事業協会」が結成され、当会がその翌年に財団法人として認可された後、昭和27年に現在の「社会福祉法人秋田市社会福祉協議会」に名称変更されました。

理念は「共同社会の連帯責任」

本地区の「設立趣意書」によると、「社会福祉は公的な保証制度（社会保険法、児童福祉法、身体障害者福祉法等）のみでは十分とは言えません。また一部の篤志家や社会奉仕者のみに任せておいたのでは到底その目的を達成することができません。そこで従来の善意的恩恵思想から、新しい「共同社会の連帯責任」と云う考え方が生まれてきます（以下略）」と言及されています。まさに、今日に繋がる社会福祉の骨格となる考え方の原点をそこに見いだすことができます。

これまでに築山地区社協事業の推進に甚大なお力添えを賜りました地域の皆様に対しましては、深く敬意を表します。

実は、昭和24年には、県単位の連合組織として全国初の「財団法人秋田県社会福祉事業連合会（現在の秋田県社会福祉協議会の前身）」が結成されました。

そうした動向に沿って「秋田市社会福祉協議会理事会」では、昭和29年5月に、各学区ごとの「地区社会福祉協

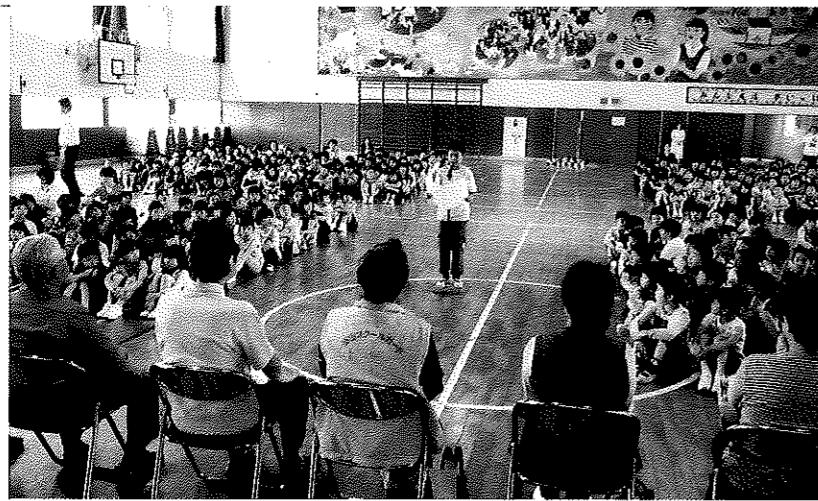
議会」の設置を決定しました。みんなで力を出し合って「より明るい、より住みよい」地域社会を造りあげていく（「社会福祉事業法」の理念から、各地区では設立趣意書作成を加速させました。学区単位の組織的な活動は地区によっては、昭和24年以前からすでに進められていたそうです。

本年度築山社協では、先覚者の労を偲び、特別事業として「記念式典・記念祝賀会」を10月28日に開催することにいたしました。本地区福祉推進関係者の皆様には後日ご案内を申し上げますので、何卒ご協力をお願い致します。

◆築山社協設立60周年記念誌を現在、スタッフで編纂中（年内刊行）です。

写す／見るまちの動き

地域活動



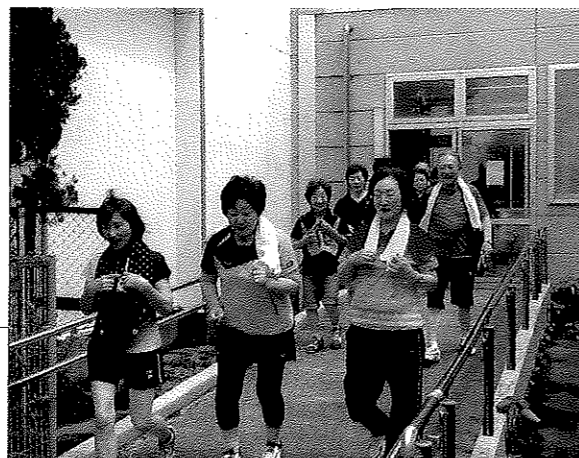
築山小児童を日ごろから見守っている地域住民と児童による築山安全ネットワークボランティア感謝集会が5月31日、同小体育館で開かれた。児童らは花の輪で迎え、ありがたの気持ちを手づくりのメダルに込めて贈った。情報交換では自転車事故など話し合い、児童らの安心安全への思いを強くした。



秋田市では公立保育所の民間移行を推進しており、その一環として川口保育所（橋山登町10-50）が、4月1日社会福祉法人・秋田県母子寡婦福祉連合会運営の「かわぐち保育園」に生まれ変わった。（6面写真参照）



築山保健推進委員会によるクック教室が、6月20日（女性）、7月13日（男性）、秋田市保健センターで開かれた。管理栄養士の斎藤さんの指導のもと、豆腐ステーキの夏野菜ソース、にんじんサラダなどを調理し、日ごろ不足しがちな野菜をたっぷり味わった。



橋山地区コミュニティセンターで、6月25日、防災避難訓練が行われた。サークル活動中の人たちはスムーズに屋外へ。万一の場合への貴重な体験となった。

築山学区町内会長連絡協議会

会長：樋渡 久孝

平成28年6月1日現在

町内会名	会長名	町内会名	会長名	町内会名	会長名
宮田	松田 昭夫	橋山虎ノ口新町	阿部 豊	愛宕下東丁	田中 繁
JR宮田自治会北	大橋 翼	南新町	長門 永興	愛宕下西丁親交会	佐藤 義孝
イーストハイム宮田社宅	小山 徹	森林管理局第17アパート	佐藤 次郎	愛宕下南丁	松渕 隆
築地北町	鈴木 正志	太 平	岡崎綱一郎	愛宕下北丁	加藤 啓
築地東上町	倉田 紀子	牛島橋通町	伊勢谷順一	愛宕下中丁	上神谷雄二
築地窪町	伊藤 勝美	牛島橋通り南部	渡邊 剛	城南町	菊地 聡
築地上本町	伊勢 定正	橋山共和町	菅原 文夫	金照寺山	佐藤 敏信
築地下本町	久米田 和太郎	橋山下浜町	半田 輝男	寺小路北	内藤 眞吾
築地中町	吉田 正則	川口境西部	猪股 竹作	寺小路南	三浦 五郎
築地西町	綿引 順一	登町南部	三平 良一	城南みなみ	堀井 満
築地睦会	加賀屋 恵	川口境東部	高橋 重治	橋山石塚谷地	打矢 春信
橋山本新町上丁	橋村 忠樹	若草団地	木村 正美	橋 山	伊藤 達男
橋山本新町下丁	佐藤 翠	入川橋	本間 斗	橋山石塚町	米沢 正
橋山上本町	中川 利宗	十軒町	進藤 幸男	橋山石塚新町	堀井 勇
橋山本横町	津谷由紀子	米沢町	滝澤 文雄	太田町連合町内会	樋渡 久孝
内木町	柳原久美夫	登町東部	相場 和志	太田町本町	佐藤 範雄
橋山本町下丁	佐藤 茂徳	登町中央部平和会	田口 学	太田町山水会	土岐 文雄
橋山古川新町	保坂 金雄	登町西部	佐藤 秀一	太田町東部	米山 七郎
百石橋通り	波多野達雄	亀ノ町栄町	岡部かず子	太田町睦会	土佐 央明
榎取町親睦会	安藤 秀樹	餌刺町	斉藤 良治	太田町栄町	高原 哲夫
末無町	工藤 裕紀	九郎兵衛殿町	新城 正弘	太田町南町	佐々木正男
医王院前町	鎌田 悟	笹 町	福田 洋介	太田町新町	山上 一之
橋山広小路	岩出麻好子	三枚橋町	佐々木重雄	太田町旭町	佐藤 正